

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立皆生養護学校

学校長 山 田 知 子

評 価 日	令和6年2月14日（水）	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ・各学部・分掌の評価結果から、十分或いは概ね達成できていると評価。 ・生徒さんの今と未来を考えて色々なアイデアを出し、試行錯誤されていることを高く評価している。引き続き皆生養護学校の発展を願っている。		・引き続き、一人一人に応じた主体的な学びを実現する授業や教育活動の推進に努める。
2 目標達成のための取組結果について <交流関係> ・防災とも関わるが、今回ボッチャeスポーツを通して積極的に地域の方に出向かれたことがありがたい。今の時代では共存という部分で、どの障がいがあっても互いに助け合っということが必要になってくると思う。交流の場が、地域に住んでいる子どもたちの発信の機会の一つになるとよいと感じた。 ・「皆生スポレク祭」「皆生・ブライト・フェスティバル」などの学校行事が新型コロナの状況も踏まえ実施できたが、今後も共催的（PTA・地域の方等）で、顔と顔の関係がより感じられ、より多くの方に来ていただき、子どもたちが地域で生活していることの発信になればよいと感じた。（戦略事業部） <防災関係> ・防災学習の一つとして、公民館で生徒の方が、自宅からの避難の経路・状況などについて発表。公民館でも災害時等における地域での対応について話し合う機会となった。今後も、学校・行政・公民館・福祉関係機関等との連携を図ってほしい。（高等部） ・防災に関わる教職員アンケートでは、災害等の緊急対応のイメージは概ね持てているようであるが、実際に動くとなれば、パニックやそれ以上のことはで		・本年度、県教育委員会ホームページに報道資料提供を行い、本校の生徒の活躍の記事が新聞に載ったり、ニュースが放映されたりした。今後も子どもたちのがんばっている姿を色々な人に見てもらって、知ってもらえるよう、積極的に情報発信をしていく。 ・本年度、外部講師の方に障がいのある子どもたちの防災、発災時の対応について研修（保護者・教職員）を実施をした。来年度も継続して研修を実施していく。

きない可能性もあり、引き続き取組に力を入れてほしい。(保健指導部) ＜地域とのつながり＞ ・「地域、社会をよりよくする学び」を実現するために、地域、社会のことを知ることが重要。引き続き、地域での活動や交流をすすめていただきたい。また、皆生の地域の目玉として、皆生温泉がある。皆生温泉との関係構築ができると新しい取り組みが創出できると思う。 3 具体目標の達成状況について ・人権教育の社会参画についての評価に関わり、児童生徒が学校の中で自分の意見を表明できている点で、学校の中だけでなく、社会に出た時に必要な支援について自分で発信ができるようにという方向もあってもよいのでは。(人権教育・生徒指導部) ・公民館では、ボッチャや防災に関わる発表等を通して楽しく交流ができた。来年度は、ボッチャなど今年度よりももう少し長い時間、ゲームなどで交流ができるよいと思う。(高等部) 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ・本年度、施設・事業者見学(保護者・教員)が行われたが、PTAでも研修に参加するにあたってのメリットなど、発信の仕方をより考えていきたい。また、事業所開拓もなされ、生徒にとっても、できることや難しいことなどについて知る情報源やきっかけになったと思う。(進路指導課) ・来年度の各学部・分掌の改善方策の方向はよい。 5 その他 ・戦略事業「先輩に学べ！」等で新年書道パフォーマンスに招かれた先輩・保護者や「e スポーツ」で一緒に楽しんだ会員の方からも交流後に前向きな意見が多かった。引き続き、卒業後の生活につながる指導や助言をお願いしたい。 ※令和6年度学校経営案(案)について ⇒委員全員承認	・来年度の人権教育の取組や年間指導計画の作成に活かしていく。 ・地域との関わりについては、今年度、公民館とのつながりをもとに道筋ができた。今後も取組の展開を考え、地域との関わりを広げていく。 ・進路に関わる整理した情報をもとに、その情報を効果的に発信していく。 ・来年度も戦略事業を含め、幅広い体験活動や、人・社会と関わる場面の設定を重点目標の一つとして取り組む。文化芸術活動(音楽・美術・書道等)やあスポーツ活動(ボッチャ、e スポーツ等)を促進する。
--	--